

New Hope

～札幌ペンテコステ教会ニュース～
2014年2月

十字架

キリスト教会のシンボルである十字架。クリスチャンであるかどうかにかかわらず、十字架のアクセサリーをしている人も時折見かけます。中には「お守り代わりに」持つ人もいます。一方で、困難の中にある人について「彼は重い十字架を背負っている」という言い方をすることもあります。そもそも『十字架』とは何なのでしょう。

札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南 14 条西 18 丁目 4-5

TEL&FAX 011-561-5072

<http://sapporopk.com/>

『十字架』はローマ帝国時代、重大な罪を犯した者を死刑に処するために使われた「はりつけ用の道具」です。骨や鉄の破片が付いたムチで数多く打たれた後、刑場まで十字架を背負って歩かされ、それに手足を釘づけされて立てられ、死ぬまで晒されます。その凄惨(せいさん)な方法から、「最も苦しむ死刑の一つ」であるとも言われます(映画『パッション』参照)。



十字架の意味は？

なぜ『残酷な死刑の道具』が教会のシンボルなのでしょう。人を苦しめて殺すための道具を喜んで掲げるなんて、本来は変な話です。

キリストは、はるか以前から示されていた預言の言葉の通りに、すべての人が持っている『罪』の罰を身代わり受けて殺されました。キリストの死によって、それを信じる者が永遠の滅びから救い出される——荒唐無稽に聞こえるかもしれない、この事を思い起こさせるシンボルとして、キリスト教会では十字架を掲げます。

十字架の言(ことば)は、滅び行く者には愚かであるが、救(すくい)にあずかるわたしたちには、神の力である。 (新約聖書 コリント人への第1の手紙 第1章18節)

イエスはあらかじめ皆に伝えていた通りに、死後 3 日目に復活しました。それによって、『口先だけの教え』ではない『真実』であることが示されました。「そんなバカなことがあるか」と無視することもできますし、取り合わない人も少なくありません。しかし、彼を信じる人にとっては、この『死刑の道具』こそが『救いのシンボル』なのです。「お守り」のように、ただ持っているだけでは何の意味もありません。この十字架の意味を信じることこそが、その人の救いを保証するのです。これを記念して、教会に十字架を掲げ、アクセサリーとして身に付けるのです。

失望に終わることがない



命ある限り、人生にはいろいろな苦勞や困難がついて回ります。しかし『キリストによる救い』は、それらのどんな状況をも凌駕します。生きる意味と指針、地上の生涯を終えた後の行き先を知っていれば、最終的な希望を失うことはありません。

すべて彼を信じる者は、失望に終わることがない
(新約聖書 ローマ人への手紙 第10章 11節)

イエス・キリストを知り、十字架の意味を知り、それを信じて『永遠の救い』を受けませんか。努力や修行やお金は必要ありません。ただ心に信じて、

「信じます」と告白するだけで、救いを受けられます。キリストは、そのために身代わりの死を遂げたのです。かつての『死刑の道具』は『希望の象徴』に変わったのです。

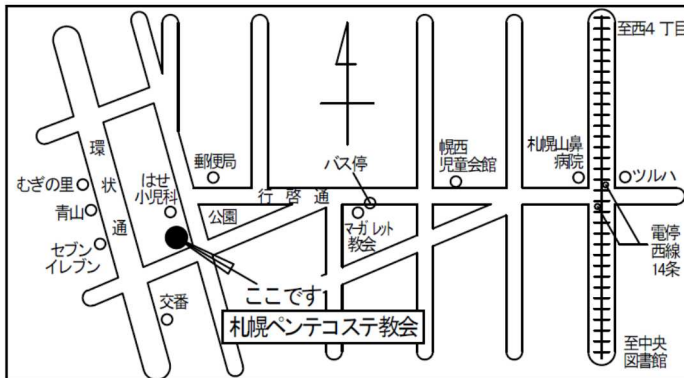
祈ってみましょう

イエスさま、あなたがわたしの身代わりに十字架で死に、復活して下さったことを信じられるように助けて下さい。わたしの人生に希望をもたらして下さいますように。イエス・キリストのお名前によってお祈りいたします。

教会の定期集会のご案内

- GP クラブ こどものためのプログラムです。(毎週日曜日 あさ 9:00~10:00)
- 聖日礼拝 聖書を通じて神さまを知ります。(毎週日曜日 あさ 10:30~12:00)
- 祈り会 神さまを賛美し祈り新たな力を受けます。(毎週木曜日 よる 7:00~8:30)

どの集まりも参加自由、入場無料です。それぞれ、自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをささげる」ためのもので、各自の自由です。



教会のホームページ

<http://sapporopk.com/>

NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりすることができます。

西 4 丁目電停から市電にて
西線 14 条下車

JR 札幌駅札幌ターミナルから、
JR 北海道バス啓明線[51]にて
南 14 条西 17 丁目下車